

## 東よしき議員の平成 27 年度一般会計補正予算に対する反対討論

議案第 54 号平成 27 年度江南市一般会計補正予算第 2 号に反対の立場から日本共産党議員団を代表して討論を行います。

● 10 月 5 日以降にマイナンバーの通知カードが簡易書留で送付されます。その後市は希望者への個人番号カードの発行、郵便局から戻された通知カードへの対応、場合によっては訪問調査も必要になるなど。また、個人番号カードの交付は来年 1 月から始まりますが、いわゆる住民移動の繁忙期に重なります。実際 2・3・4 月の繁忙期の転入・転出や市内転居の数は 2 月で 713 件通常期の 1.1 倍、3 月は 1394 件で 2.1 倍、4 月は 950 件で 1.5 倍など一気に仕事が増えることが予測されます。それに転入や市内移動は書き換えが必要になります。それにも対応しなければなりません。まさに余分な仕事が増えるだけです。そして常に漏洩対策への対応が伴います。

このように江南市の交付事務だけでも約 39,00 万、全国での事業ですから莫大な費用と手間をかけ、わざわざ国民のプライバシーを重大な危険にさらす共通番号を導入するよりも、現在使っているシステムを活用しながら、税と社会保障の分野での業務の効率化・適正化をはかり、住民の利便性を高めるために知恵と労力を使うべきです。

● 新しくなる布袋駅にエスカレーターを設置するために設計に必要な名鉄への負担金が予算化されました。

ご承知のように、名鉄とのエスカレーターの設置及び維持管理に関する覚書に基づくものです。その内容は、設置工事費から年間の維持工事費まで全額市の負担。それに委託する維持管理業者は名鉄の承認を受けたものの限る。さらに駅構内の施設にもかかわらず江南市に帰属し、事故の損害賠償への市の責任まで盛り込まれています。あまりにも理不尽な覚書ではないでしょうか。名鉄は一切関係ありませんといわんばかりです。

これでは駅利用者全てに対し利便性の向上に務めるべき名鉄の責任放棄であって、このような名鉄いいなりのエスカレーター設置は認められません。